

平成26年度「海の作文コンクール」入賞作品

金賞（国土交通省神戸運輸監理部長賞） 1点

「沼島の海」

南あわじ市立 沼島小学校 6年 平井 乃愛

沼島の海は、他の海とちがってとってもキレイです。他の海と、どこがちがうのかというと、ゴミがあまり無い事です。毎年、観光客の人たちがおとずれて、あちらこちらにバーベキューのゴミが落ちていたりします。でも、小中学生が班に分かれてゴミを拾って海をキレイにします。ゴミを拾っていると、時々とってもキレイな貝が落ちていました。ゴミの下にたくさんの貝があります。私は、そのキレイな貝を見つけるのに、ゴミをいっぱい拾います。ゴミをどけて貝を見ると、私は、とってもいい気持ちになります。でも、毎年、ゴミが増えてきています。海水浴場には、看板があります。その看板には「バーベキュー・キャンプファイアー・テントを張る」この三つをしてはいけません。でも、沼島におとずれた観光客の人達は、この三つの事をやります。なぜやるのかというと、観光客の人達はその看板を見ていないからです。だから、今度おとずれた観光客の人達に看板を見てもらってルールを守ってほしいです。

沼島の海は、他の海とちがって、屋台が出ていません。でも、「とびこみ台」があります。私は、その「とびこみ台」で遊ぶのをとっても楽しみにしています。私は、沼島の海にも屋台がほしいと考えた事はあります。けれども、沼島の海には、そういうものは必要ありません。なぜなら、沼島の海には、沼島の海らしさがあるからです。海の中には、とってもキレイな貝ガラがあるし、もぐらなくてもいいほど、とうめい感があるからです。魚も泳いでいて、他の海とは全然ちがいます。

沼島の人達は、毎年、沼島の海に泳ぎに行くのをとっても楽しみにしています。もちろん、観光客の人達も楽しみにしていると思います。けれども、だれかが沼島の海をよごすと、また、だれかがよごしてしまいます。こういうことが無いように、がんばりたいです。